

授業概要

3歳未満児に関する発達過程を正しく理解し、その保育体制および保育の配慮事項についての基礎を学ぶことを通して、乳児保育の意義と目的を理解することをねらいとし、講義する。

3歳未満児の保育においては、3歳以上児を対象とする保育とは異なる保育のねらいと配慮とがあるが、それには3歳未満児の発達過程が深く関連している。乳児保育には幼児期後半の子どもとは異なる配慮に基づく援助が必要であり、その根幹にはどのような理念があるかについての学習を目指す。

授業計画

第1回	オリエンテーション 乳児保育とは
第2回	乳児保育の意義・目的と歴史の変遷及び役割等
第3回	保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題
第4回	3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容
第5回	3歳未満児の生活と環境
第6回	3歳未満児の遊びと環境
第7回	乳児(0歳児)の発達過程(身体面・社会面・情緒面・知的面)
第8回	乳児(0歳児)の保育における配慮(保育士等による援助や関わり)
第9回	1歳児の発達過程(身体面・社会面・情緒面・知的面)
第10回	1歳児の保育における配慮(保育士等による援助や関わり)
第11回	2歳児の発達過程(身体面・社会面・情緒面・知的面)
第12回	2歳児の保育における配慮(保育士等による援助や関わり)
第13回	乳児保育における計画・記録・評価とその意義①
第14回	乳児保育における連携・協働(職員間・保護者・地域・関係機関)
第15回	まとめ
第16回	定期試験

到達目標

1. 乳児保育の意義・目的と歴史の変遷及び役割等について理解する。
2. 保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解する。
3. 3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制について理解する。
4. 乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や地域の関係機関との連携について理解する。

履修上の注意

- ・乳児保育での学びの内容を確認し、積極的に授業に参加すること。
- ・資料のプリントファイルを、常に持参すること。

予習・復習

- ・予習：保育所保育指針、教科書を読んでおく。
- ・復習：授業内容のプリントファイルを作成し、整理して重要事項をチェックする。

評価方法

・授業への参加姿勢(出欠も含む)(10%)・課題レポートの提出(30%)、試験(60%)で評価を行い、総合評価60点以上を合格点とする。

テキスト

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・教科書名：幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領の成立と変遷 ・著者名：民秋言 ・出版社名：萌文書林 ・出版年(ISBN)：2017年 | <ul style="list-style-type: none"> ・教科書名：乳児保育の理解と展開 ・著者名：須永進・川喜田昌代 ・出版社名：同文書院 ・出版年(ISBN)：2019 |
|--|---|

参考書：「保育所保育指針解説書」厚生労働省(2018)
その他、適宜資料の配布を行う。